

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」南松本校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・特性、支援人数によってパーテーションや機の配置等の環境編成をしている。	・今後も利用するお子様、保護者様ご要望を踏まえて適切な環境を整える。
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・適切な個別支援が提供できるよう、支援時間帯利用人数の調整を行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・集中できるよう刺激の少ない支援環境への配慮をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・毎日の清掃や換気を行い、感染予防に努めながら安心して利用いただけるよう努めている。	・コロナ渦において清掃、消毒、換気等をより注意し感染予防に努める。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・その都度重要事項の共有や、毎週 1 回の職員会議によって検討・連携している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・よりより事業所となるよう、保護者様のご意向をいただきやすい雰囲気作りに努めている。	・評価表配布時のみならず、保護者様のご意向があったときはその都度把握し、業務改善に努める。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・ホームページにて集計結果、改善策を記載。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		・第三者による外部評価を業務改善に繋がられるよう努める。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・内部研修を定期的に行い、専門性を高められるよう努めている。また、行政による外部での研修にも可能な限りに参加している。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・面談を 2 人で行い、情報の偏りが無いよう努め、職員間での検討会議を重ねて個別支援計画を作成している。	

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・標準化されたアセスメントツールを使用し、特性に応じて項目以外の聞き取りも行っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・職員個々の専門性を生かしつつ、ガイドラインに沿った支援を適切に提供できるよう努めている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・定期的に職員間での情報共有、確認をしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・週1回職員会議を行い、支援の進捗状況を共有しながらすすめている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・職員個々の経験、資格を生かし、同じねらいでも別視点からの活動を取り入れて支援を行う工夫をしている。	・いろいろな視点での活動を考え、固定化しすぎないように改善の継続をする。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・個別がメインではあるが、集団活動の参加によってつけられる力を含め作成することを心掛けている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・利用児の姿や特性等を踏まえ、予想される行動を共有・確認し対応している。	・欠席、追加支援、時間変更等その都度共有しながら全体共有に努める。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・安全面や重要事項についてはその都度全体共有をしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・支援担当職員が毎回変わる為、支援の進捗状況を次回に引き継げるよう徹底している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・利用児の支援状況、保護者様からのニーズを把握し、見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・情報の偏りが無いよう、職員間で支援の状況や課題点を十分確認したうえで参画している。	・会議時間帯によって参加ができないことや、参加職員が固定化してしまうが、可能な限り改善に努める。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・行政担当者や保健師等、必要に応じて連携をとっている。	

者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	・現在医療的ケアが必要な児童はいないが、利用があった場合は連携を図る。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	・現在医療的ケアが必要な児童はいないが、利用があった場合は連携を図る。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・必要な利用児については情報共有を行っている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・個々の特性に応じて必要な場合は情報共有を行っている。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・定例会議、支援者会議に出席し、助言や研修等情報を共有している。	・どの職員も会議参加ができるように調整をする。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	・現状難しいが、フィードバック時利用児兄弟との交流ができるよう配慮している。	
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		・支援形態、プライバシーの観点から難しい面あり。
保護者への説明責任等	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・支援内容や利用児の様子を保護者様へ毎回報告し、共通理解できるよう努めている。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・月1回の事業所内相談において、ペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	・保護者様の要望にお応えできるものを中心に、ペアレント・トレーニングを行う。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時にご説明をしている。 また質問があった場合には、その都度回答をしている。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を基本としながらも、個々のケースに合わせた柔軟支援内容に努めている。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・来所時や電話対応、フィードバック時以外にも、事業所内相談支援を適切に行い、悩みや相談に応じている。	

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	・保護者会は無いが、保護者様同士の交流や情報交換ができる場を月に1回開催している。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・保護者様からのお話を伺い、事業所内で反省点を確認し、今後の対応についていけないにご説明できるよう努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・おたよりやLINE、ブログ、インスタ等にて必要な情報を発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・書類に関しては鍵付き書庫にて保管、その他利用情報については職員間で十分取り扱いを注意している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・相談等話しやすい雰囲気作りに努め、意思疎通が図りやすいよう心掛けている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	・プライバシーの観点から現状難しい。今後検討する。	・支援形態、プライバシーの観点から難しい面あり。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	・マニュアル策定の上、毎月1回防犯・避難訓練を実施している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・定期的に行い、前回の反省をもとに必要な改善を図っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・服薬やてんかん発作等、面談時に保護者様より確認し、事業所内で共有している。	・服薬、てんかん発作がある児童について、表にして常に確認できるようにする。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・飲食提供はないが、万が一食べてしまったときの対応について再度確認をする。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・ヒヤリハット事例発生時の情報共有や対応方法を確認・報告書作成している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・事業所内で時間を確保し、研修をしている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・該当児童はいないが、虐待防止研修の中で身体拘束事項についても確認。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」南松本校

保護者等数（児童数）：9 回収数：9 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	0	1	・パーテーションで区切られているが、同時間帯に数人が支援する場合、もう少し集中できる環境を整えてほしい。 ・体を動かすにはスペースが足りない。	・部屋の配置への配慮をより職員間で連携をとっていきます。 ・机など端に寄せるなど限られたスペースで運動が充実するように対応いたします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	0	・出入口に鍵を付けた方がいいのではないか。急斜面の階段があり心配。	・利用家庭の出入りが多く施錠は難しいですが、職員間で個別対応をしつつ急な飛び出しのないよう対応をいたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1	0	0	・コロナの時期で手の消毒はできているが、換気はしているかわからない。	・換気扇は常時回している、もしくは支援の入れ替え時間帯の2方向換気を行っています。今後も感染予防に努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0	・個々の特性に合わせて支援道具を作っているありがたい。	・今後もお子様一人一人に合った支援のご提供ができるよう努めます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	1		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	2	0	1	・自宅でも継続できる内容を指導いただけるとありがたい。	・お家でも継続していただける内容は意識してお伝えしているよう連携をとります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	・毎回支援後のフィードバックで詳細を聞き、発達状況がわかる。	・今後もサポートさせていただきながら、保護者様へのわかりやすい説明を心掛けていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	1	0	・支援者会議を開いていただき、アドバイスをいただけてありがたい。	・何かございましたらご対応いたしますので、お気軽にお声がけください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	2	0	・難しいかと思うが、年間予定を組んでいただけると助かる。	・可能な限りなるべく早めにお伝えさせていただきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	2	0	0	・LINE等でイベントを知らせてくれてありがたい。	・なるべく多くのお子様を楽しみながら集団活動の取り組み等をしていただけるよう、今後も楽しいイベントを検討いたします。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	1	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	2	1	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	1	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	1	・最初は慣れない場所に抵抗があったが、今ではスムーズに入れ職員と楽しめている。	・楽しみながら力を養えるよう、また「少し挑戦してみる」気持ちが湧くよう支援に努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	1	・通所してからできることが増えてよかった。	・個々の発達段階、現在の様子を職員間で検討しながら、スモールステップでできたことが自信となるよう職員間で連携をとります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。